

## 第 70 回 東海高等学校総合体育大会 ヨット競技大会 実施要項

1. 主 催 東海高等学校体育連盟、静岡・岐阜・三重・愛知各県教育委員会  
静岡県高等学校体育連盟ヨット専門部  
静岡県セーリング連盟
2. 後 援 (公財) 静岡県スポーツ協会
3. 期 日 (1) 開会式 令和5年6月10日(土) 9:30～  
(2) 競 技 令和5年6月10日(土) 10:25～ 11日(日) 2日間  
(3) 閉会式 令和5年6月11日(日) 15:30～(予定)
4. 会 場 (1) 開会式・閉会式 静岡県立三ヶ日青年の家ヨットハーバー  
〒443-0014 静岡県浜松市北区三ヶ日町都筑 523-6  
TEL: 053-526-7156  
(2) 競 技 静岡県立三ヶ日青年の家ヨットハーバー 同沖合
5. 競技種目 (1) 男子 420 級・男子レーザーラジアル級  
(2) 女子 420 級・女子レーザーラジアル級

### 6. 競技日程

第1日 6月10日(土)	8:00～8:30 9:00 9:30 10:25 10:32	受付 監督・主将会議 開会式 420 級第1レース予告信号 レーザーラジアル級第1レース予告信号
第2日 6月11日(日)	8:30 9:25 9:32 15:30	ブリーフィング その日の最初の 420 級のレース予告信号 その日の最初のレーザーラジアル級のレース予告信号 閉会式

- (1) レースは、男子 420 級、男子レーザーラジアル級及び女子 420 級、女子レーザーラジアル級(以下「各種目」という)各 6 レースを行う。但し、各種目が成立するためには、レースが 1 回以上成立しなければならない。
- (2) レース日程の変更は、それが発効する前日の 18 時まで公式掲示板に掲示される。
- (3) 昼食休憩は陸上にて確保される予定であるが、その限りではない。
- (4) 6月11日のレースは 12:55 より後に予告信号は発しない。

### 7. 競技規則

- (1) 本大会は『セーリング競技規則 2021-2024』(以下「規則」)に定義された「規則」を適用する。ただし、本要項、帆走指示書によって変更したものを除く。
- (2) 本大会は『セーリング装備規則 2021-2024』を適用する。
- (3) 『東海高等学校総合体育大会 要項』を適用する。
- (4) 本実施要項を適用する。
- (5) 付則Pを適用する。
- (6) 付則Tを適用する。
- (7) 420 級クラス規則の D4.2.3 及び、B3 及び、C2.1.2 を次のように変更し適用する。  
ア クラス協会の会員である必要はない。  
イ 乗員は4名まで登録できる。

- (8) レーザーラジアル級はマストトップに着脱可能な浮力体を取り付けてもよい。形状は球形に限り、1か所のロープで取り付けなければならない。ただし、コンディションにより、付けた外したりしてもよい。
- (9) 曳航ロープについて
- ア 420 級については、420 クラス規則のとおりとする。
- イ レーザーラジアル級については、直径6 mm 以上、長さ5 m 以上の曳航ロープをバウアイにつけておかなければならない。

## 8. 競技方法

- (1) 男子・女子 420 級の登録選手数は1艇4名以内とし、1チームを構成する。チーム内での各レースのスキッパー、クルーの分担は任意である。また、男子・女子レーザーラジアル級の登録選手数は1艇1名とする。なお、選手登録の変更は原則として認めない。
- (2) レースは 420 級、レーザーラジアル級ともに各クラス男女混合で行う。但し、各クラスの成績は男女別で出すこととする。
- (3) 順位は、各種目別に決定する。各種目とも男女の順位については、先頭艇フィニッシュ時刻、フィニッシュ順位、レース終了時間は、男女別に記録される。
- (4) 得点は、RRS 付則 A4 による。但し、成立したレースが3回以下の場合は、すべてのレースにおけるその艇の合計得点とする。成立したレースが4回以上の場合は、その艇の最も悪い得点の1レース分を除外した合計得点とする。
- (5) RRS70.5(a)に基づき、本大会プロテスト委員会の判決をもって最終とし、上告の権利を否決する。

## 9. 引率・監督

- (1) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とし、選手全ての行動に責任を負うものとする。
- (2) 監督は校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とし、その写しを参加申込書に添付すること。

## 10. 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒は除く。
- (2) 選手は、静岡・岐阜・三重・愛知の各県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部に登録し、当該競技実施要項により東海高等学校総合体育大会の参加資格を得たものに限る。
- (3) 年齢は平成17年（2007）年4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）但し、一家転住などやむを得ない場合は、各県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (7) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する高体連会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例
- ア 上記（1）（2）に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟が推薦した生徒について別途に定める規定に従い、大会参加を認める。
- イ 上記（3）の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技3回までとする。
- (9) 令和5年度日本セーリング連盟メンバー登録を完了しているもの。

### 【大会参加資格の別途に定める規定】

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
- (1) 大会参加資格を認める条件
- ア（公財）全国高等学校体育連盟の目的を理解し、尊重すること。
- イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに

高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。

ウ 各学校にあっては、各県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、東海大会への出場条件が満たされていること。

エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。

#### (2) 大会参加に際して守るべき条件

ア 東海高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合せ事項に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

### 1 1. 参加制限

(1) 各種目、それぞれ各県8艇以内とする。

(2) 1校あたりの出場艇数は、各種目2艇以内とする。

(3) 艇ごとに選手登録を行い、複数の艇に同一選手の登録はできない。

### 1 2. 参加申込

#### (1) 申込書類

ア 参加申込書

イ 大会参加料 1人 2,000円

※ 上記書類は「静岡県高等学校体育連盟 東海総体専用」ホームページからダウンロードし、必要事項をパソコンで入力後、印刷したものを提出すること。

#### (2) 申込方法

参加申込書については、参加校の申し込み責任者が参加申込書を作成し、電子媒介（PDF形式）もしくは原本を郵送等で各県高等学校体育連盟から指定された期限までに提出する。

大会参加料については、各県高等学校体育連盟から指定された期日までに提出する。

併せて、同電子ファイルを12(4)の期限までに12(3)のメールアドレスまで、電子メールで送信すること。

#### (3) 問い合わせ先

〒413-0102 静岡県熱海市下多賀1484-22 静岡県立熱海高等学校内

静岡県高等学校体育連盟 ヨット専門部

新村 武久

TEL: 0557-68-3291 FAX: 0557-68-1854

メール送付先アドレス: takehisa01.shinmura@edu.pref.shizuoka.jp

#### (4) 電子ファイル申込期限 令和5年5月26日（金）16時必着

※三重県代表校は5月29日（月）16時必着

### 1 3. 計測

(1) 計測は必要に応じて行うが、計測を行わなくてもクラスルール通りに艇を維持することは、オーナーの責任である。

(2) 装備規則 A. 2に留意し、受付時に計測証明書を提示すること。但し、艇体番号とセール番号が異なる場合、双方の計測証明書を提示すること。

### 1 4. 表彰

(1) 各種目の1位にメダルを授与し、1～3位に賞状を授与する。

(2) 学校対抗競技は、男女別に420級、レーザーラジアル級の確定した順位に対する得点を与え、各校の上位2艇までの合計得点で決定する。「順位に対する得点」とは、1位の得点を参加艇数の値とし、1位下がるごとに1点を減じた得点とする。得点は全ての参加艇に与える。

同点の場合は、420級、レーザーラジアル級のいずれかで、確定した順位が最も良い学校を上位とする。

それでも序列がつかない場合は420級の順位が良い学校を上位とする。

## 15. 連絡事項

### (1) レース艇

- ア 使用する艇については、学校の所有あるいは各学校の責任においてチャーターした艇でなければならない。
- イ セール番号は参加申込時に登録し、それ以降の変更は認めない。
- ウ 同一のセール番号を複数の艇に使用することはできない。
- エ 艇体番号は受付時に登録し、原則としてそれ以降の変更を認めない。
- オ 各種目男子エントリーと女子エントリーを判別するために女子エントリーの艇は、メインセールにひし形の赤色のマークを別添のとおりにつけなければならない。  
なお、ひし形の赤色のマークについては受付時に配布する。

### (2) 帆走指示書

- ア 帆走指示書は6月2日（金）までに各県高等学校体育連盟ヨット専門部へ電子メールを送信する。
- イ 帆走指示書の内容に関する質問は、6月7日（水）までに文書または電子メールにて受け付ける。  
また、その回答は開会式までに公式掲示板に掲示する。

### (3) コース

帆走するコースはトラペズイドコースを予定し、詳細は帆走指示書で規定する。

### (4) 支援艇

- ア 支援艇とは大会運営艇以外で救助・指導などにあたるボート等を指す。
- イ 6月10日（土）、11日（日）の大会期間中はレース委員会の要請がある場合を除き、支援艇を運行してはならない。

### (5) 個人用浮揚用具（ライフジャケット）は、クラスルールにより規定された場合を除き適切な浮力を要していなければならない。

### (6) 大会期間より前の練習については、主催者は一切の責任を負わない。

### (7) 参加者は健康保険証（コピーは不可）を持参すること。

### (8) 競技中の疾病傷害等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。

\*\*\*\*\*以下は競技要項に含まない一般情報である\*\*\*\*\*

- (1) 開会式・閉会式には、校旗又は部旗を持参すること。
- (2) 前年度優勝校は開会式にて、優勝旗・優勝盾を返還すること。
- (3) 支援艇を持ち込む場合は支援艇申込書をヨット専門部委員長新村宛にメールにて申請すること。
- (4) 受付時に必要なもの

ア 日本セーリング連盟会員証を印刷したもの

イ 420級の計測証明書

ウ 令和5年度全国高等学校体育連盟（ヨット専門部）分担金 1校 2,000円

○艇の搬入後速やかに参加校受付をおこなうこと。6月9日（金）13:00以降、随時青年の家艇庫内の大会本部で受け付ける。

内容 ①計測証明書の提示 ②参加上の注意事項

○大会前（9日以前）に事前練習をおこなう場合は各校の責任においておこなうこと。

救助体制は各校で責任を持って整えること。練習時間、練習海域等は青年の家の利用規定に従うこと。

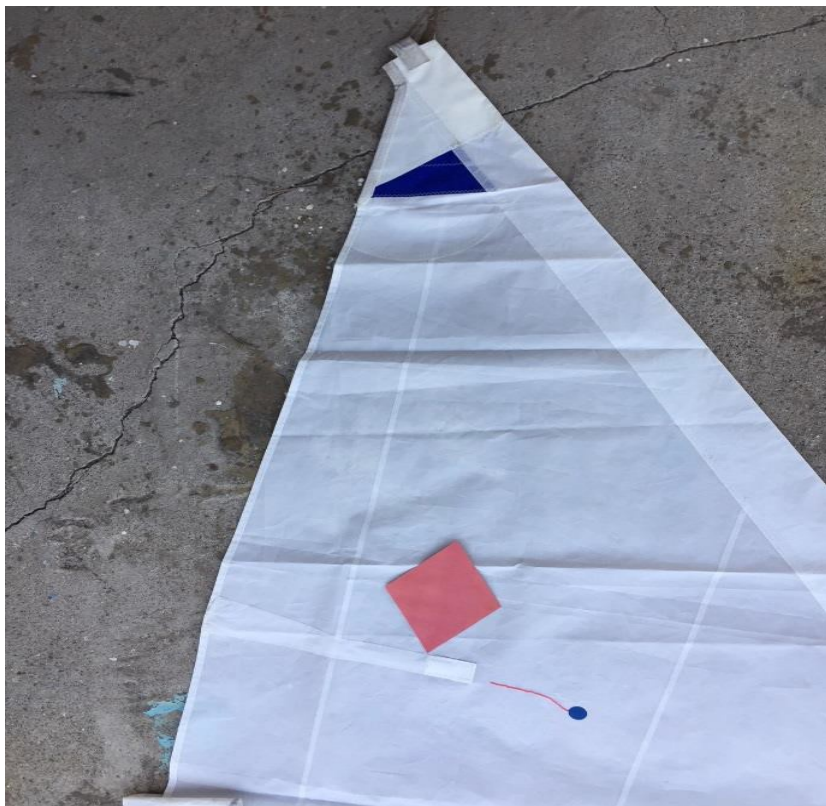
○青年の家の敷地内及び青年の家沖では、青年の家職員の指示に必ず従うこと。

別添

女子ひし形マークの貼付け位置

- レーザーラジアル級 下の「図1」が示す位置に、スターボード側・ポート側が重なるように両面貼る。  
トップバテンポケットにひし形の下端がかからないようにすること。

「図1」



- 420級 下の「図2」が示す位置に、スターボード側・ポート側が重なるように両面貼る。  
貼付位置はトップバテンとメインセールヘッドで形成される三角形のほぼ中央。

「図2」

